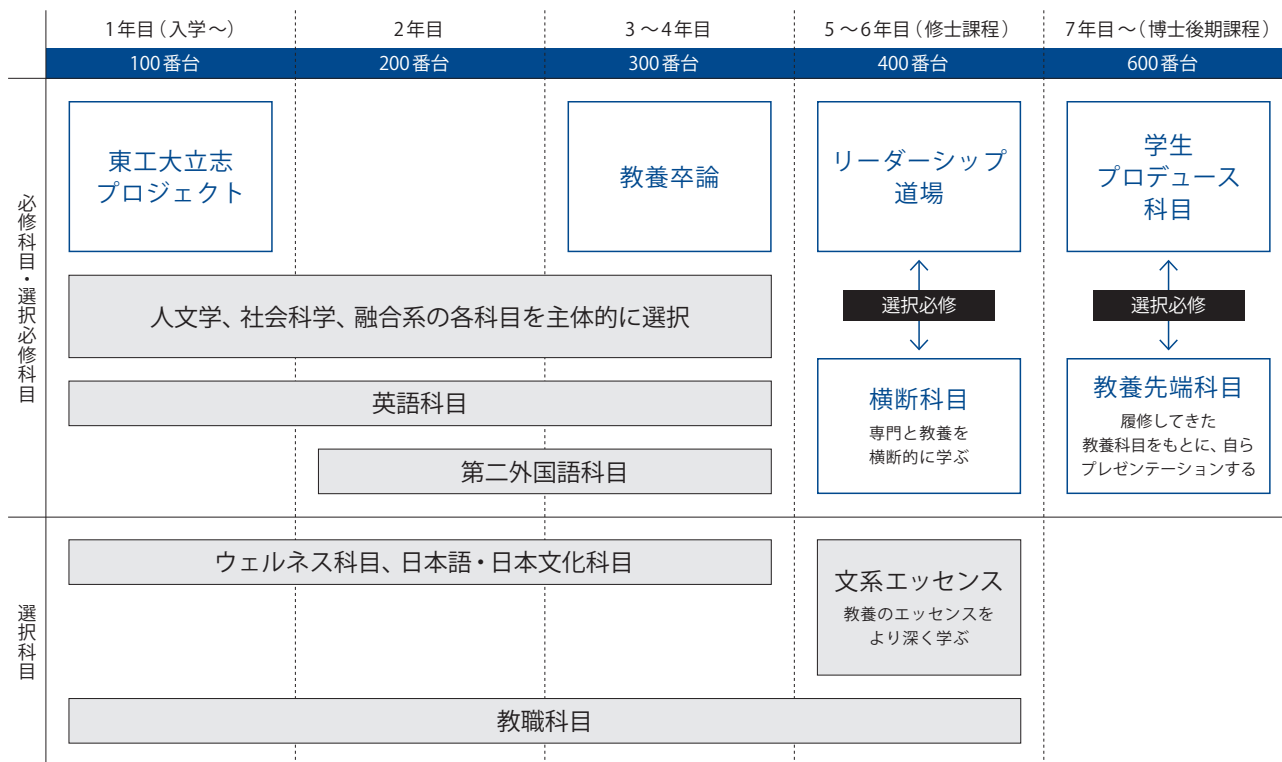


□ 教養科目の大まかな流れ



□ 教養教育の科目例 多様な開講科目を主体的に選択し、教養を身に付ける。

文系教養科目	英語科目	第二外国語科目
<p>人文学(哲学、文学、文化人類学、芸術学等)・社会科学(法学、政治学、社会学、心理学等)及び、文理融合科目(科学技術論、統計学、意思決定論等)を、斬新な手法で学びます。「東工大の伝説の文系授業」に出会えます。</p>	<p>英語の必修には、Reading等の四技能を伸ばす科目に加え、TOEFL等を利用する科目があります。Academic Presentationや口頭表現演習(英会話)等多彩な選択科目も用意されています。</p>	<p>ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、イタリア語、韓国語から選択して基礎を学びます。会話や講読のクラス、さらには古典ギリシア語、ラテン語の授業等、メニューは多彩です。</p>
ウェルネス科目	日本語・日本文化科目	教職科目
<p>生涯にわたり健康な生活を送るための基本的リテラシーを、生理・心理学、バイオメカニクスを基礎とした講義や、スポーツを中心とした活動・演習を通して身に付けます。</p>	<p>週5日の集中、週1～2日の初中級の日本語コースではすべてのスキルを総合的に学びます。アニメ、映画等テーマに沿って学ぶテーマ別日本語では日本文化も学べます。</p>	<p>中学校の数学と理科、高等学校の数学、理科、情報、工業の教員免許状が取得可能です。授業数が増える等容易な道ではありませんが、人を育てる職業を目指しませんか。</p>